

ジルコニアオーバーレイにもエステセムⅡで簡単接着

マイスター春日歯科クリニック 理事長 遠山 敏成先生



ここ数年、臼歯部におけるセラミックオーバーレイが盛んに行われるようになってきた。従来よりも歯質の切削量を抑えたこの方法は、患者個人の歯牙を長期的に保護することが期待される。しかしながら、従来の修復治療の支台歯形成とは違い、機械的な維持力の少ない支台歯形態のため、脱離防止のためには装着材料の化学的な接着力に頼る部分も大きい。またセラミックオーバーレイは二ケイ酸リチウムガラスを用いたものが主流であるが、最近ではジルコニアも多く使用されるようになり、より接着に関してシビアに考えていかなければならない。したがって、接着操作に関しては歯科医師だけでなく歯科衛生士やアシスタントも扱いやすいように、とにかく「簡便」であることや「マルチユース」である事が、シンプルに治療を進める上でとても重要になってくる。ボンドマー ライトレスⅡは化学重合なので光照射が不要であり、かつマテリアルを選ばないために接着操作を円滑に進めることができるとても有用なボンディング材である。

今回は上顎の大白歯に対して、ジルコニアを用いたセラミックオーバーレイにて修復治療を行なった際、ボンディング材としてボンドマー ライトレスⅡを、接着性レジンセメントとしてエステセムⅡを使用した症例を紹介する。

(写真はオートミックスセット)

歯科接着用レジンセメント

エステセムⅡ

オートミックス ハンドミックス (管理医療機器) 認証番号228AFBZX00129000

標準医院価格

¥ 20,500 / セット

← 遠山敏成先生による
「オーバーレイ形成」についての動画はこちらから
<https://www.plus.tokuyama-dental.co.jp/movie/crb/1195>

CASE 1

患者は30代女性。メタルインレー脱離により修復治療を希望され来院した。窩洞内のう蝕と歯質のクラックにより、咬頭を覆うオーバーレイの形で修復する事とし、極力歯質の切削を抑えるた

めにマテリアル強度の高いジルコニアを用いた。事前にチェアサイドでプロビジョナルレストレーションを作成し、IOSを用いてその形態をコピーして最終的なジルコニアの製作を行った。

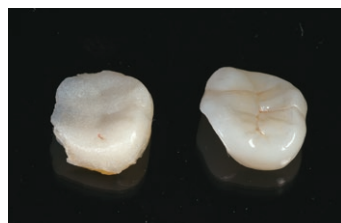


図1 プロビジョナルレストレーションとジルコニアオーバーレイ。

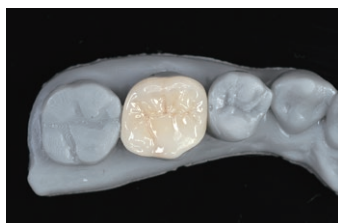


図2 調整のために3Dプリンター模型上に嵌められたジルコニアオーバーレイ。

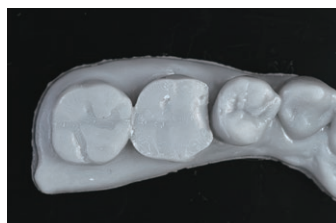


図3 支台歯形成の咬合面観。従来の支台歯形成とは大きく形態が異なる。



図4 ジルコニアオーバーレイの頬側面観。



図5 支台歯形成の頬側面観。かなり保存的な形成であるのがわかる。

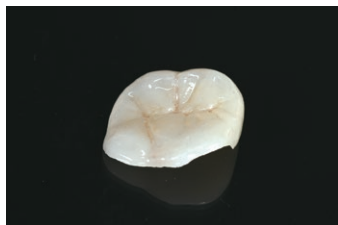


図6 マージン調整の終わったジルコニアオーバーレイ。非常に薄く従来のクラウンとは全く異なることがわかる。

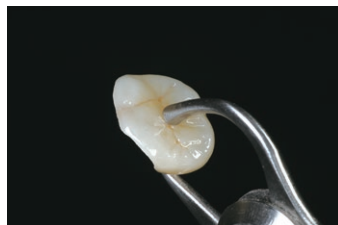


図7 咬合のかかる中心の部分の計測。



図8 約1.1mmの厚みの確保がなされている。



図9 最も薄い舌側咬頭部の計測。



図10 約0.6mmの厚さが確保されている。これ以上薄い場合は切削加工のエラーが現れる可能性がある。



図11 接着前ラバーダムの装着。(咬合面観)



図12 接着前ラバーダムの装着。(頬側面観)



図13 ジルコニアオーバーレイの試適。(咬合面観)



図14 ジルコニアオーバーレイの試適。(頬側面観)



図15 試適後の歯面のクリーニング。



図16 クリーニングの際には機械的なブラシを併用する。

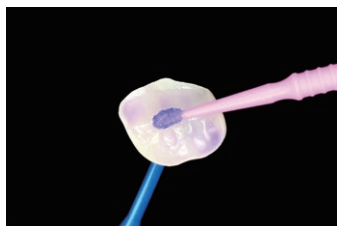


図17 ジルコニアオーバーレイの内面にもクリーニング材を適用し水洗乾燥する。



図18 支台歯の象牙質以外の部分に対するセレクトティブエッチング。



図19 ボンディング塗布前にマージンラインがしっかりと出ているか再度確認を行う。



図20 ボンドマー ライトレス II の2液を混和する。色の変化を目視する事で確実な混和を知る事ができる。



図21 ジルコニアオーバーレイ内面への塗布後、即時にしっかりとエアブローを行い被膜厚さを薄くする。(光照射不要)



図22 歯面へのボンドマー ライトレス II の塗布。同様に即時にエアブローを行う。(光照射不要)



図23 ジルコニアオーバーレイ内面へエステセム II の填入。



図24 支台歯への装着・圧接後、余剰セメントをある程度拭き取ってから光照射を行う。



図25 オーバーレイ装着後の咬合面観。



図26 オーバーレイ装着後の頬側面観。



図27 オーバーレイ装着後の舌側面観。



図28 ラバーダム除去直後咬合面観。